



1

わたしたちが 大切に守り続けてきたもの

1. 社是・経営理念・経営思想	P.03
2. 京セラフィロソフィが指し示す、経営のあるべき姿	P.04
3. 京セラフィロソフィに込められた思い	P.05
4. 京セラフィロソフィの DNA	P.06
5. 京セラフィロソフィをベースに広がる事業	P.07

敬天愛人

社 是

【 敬 天 愛 人 】

常に公明正大 謙虚な心で 仕事にあたり
天を敬い 人を愛し 仕事を愛し
会社を愛し 国を愛する心

経営理念

全従業員の物心両面の幸福を追求すると同時に、
人類、社会の進歩発展に貢献すること。

経営思想

社会との共生。世界との共生。自然との共生。
共に生きる (LIVING TOGETHER) ことを
すべての企業活動の基本に置き、豊かな調和をめざす。

強い心のつながりと、 京セラフィロソフィをベースに 経営する

京セラは、資金も信用も実績もない小さな町工場から出発しました。頼れるものは、なけなしの技術と信じあえる仲間だけでした。会社の発展のために一人ひとりが精一杯努力する、経営者も命をかけてみんなの信頼にこたえる、働く仲間のそのような心を信じ、私利私欲のためではない、社員のみんなが本当にこの会社で働いてよかったと思う、すばらしい会社でありたいと考えてやってきたのが京セラの経営です。人の心はうつろいやすく変わりやすいものといわれますが、また同時にこれほど強固なものもないのです。



創業者 稲盛 和夫

強い心のつながりと、創業者稲盛和夫の考えである「京セラフィロソフィ」。これらをベースに全員参加経営を実現する「アメーバ経営」。ここに京セラの原点があります。

世界から尊敬される「ザ・カンパニー」へ

「人間としての正しさ」を基準に新たな事業を生み、未来の社会に貢献する

■ それは、京セラで学べる「人としての基軸」

私が京セラフィロソフィと出会ったのは、就職内定時に会社から送られてきた冊子です。はじめて読んだときに印象的だったのは、言葉の数々に込められた思い。何事も思いからはじまるのであって、迷わずにやり遂げるといった思いが一番大事だという考え方は、自分の考え方に近いと感じました。現在の私は京セラフィロソフィを伝える立場にありますが、よく話すのは「京セラは、人間として何が正しいのか、事業を行ううえでの考え方や生き様を学べる会社である」ということです。京セラフィロソフィとは「人としての基軸」であり、それを身に付けて人間性を高められれば、仕事だけでなく人生においてもリスクや過ちを冒す「落とし穴」に陥らず、正しい道を歩むことができるのです。

■ 事業は人と社会のためにある

京セラフィロソフィは物事の判断基準ですが、「自分にとって有利か不利か」「会社にとって儲かるか儲からないか」ではなく、「人間として正しいかどうか」というものです。京セラは中でも特に大切な「利他の心」をもって困難に立ち向かい、地味な努力を愚直に積み上げて数々の事業を成長させてきました。例えば太陽光発電事業は、創業者 稲盛和夫が約50年も前から人と

地球の未来を考えて取り組んできたものです。また最近の事業でいうと、水の使用量を限りなくゼロまで減らし、地球との共生を目指した捺染インクジェットプリンター『FOREARTH（フォアアス）』。サステナブルなテキスタイルプリントの実現に貢献しています。

■ 新たな事業と、世界へ広がる未来の夢

今後の京セラに期待することは、京セラフィロソフィの中にある「一人一人が経営者」というマインドを持つ人たちが新しいことに挑戦し、事業を発展させ、未来の社会へ貢献すること。そんな人たちが成長して人格を高め、集い合い、社格をも高めて、京セラが世界から尊敬される「ザ・カンパニー」へ成長してほしいと思います。さらに京セラだけではなく、世界中の至るところで、ビジネスのみならず幅広い領域で、「京セラフィロソフィを学んだ」という人々が素晴らしい社会をつくっていくということが、私のひとつの夢です。

代表取締役会長

山口 悟郎



京セラフィロソフィに込められた思い

まっとうなことを。
まっさらなことを。

京セラフィロソフィを原点に人間としてのあるべき姿を、企業としての価値へとつなぐ

京セラグループがさらなる発展を目指すために、
社員一人ひとりの行動指針となる考え方、それが「京セラフィロソフィ」。
「人間として何が正しいのか」を判断基準、行動規範として、
私たちは誠実さを心に留め、全員が一丸となって挑戦と創造への努力を続けます。
そして、京セラだからできる独自の価値創造を通じて社会課題解決に貢献。
世界中から信頼され尊敬され「企業の中の企業」とであると誇れる
「ザ・カンパニー」を目指します。



社員の仕事や生き方に息づく京セラフィロソフィ

京セラフィロソフィは脈々と受け継がれ、社員の成長と成功をもたらします。その一つひとつが、京セラ全体の大きな力へとつながっています。

挑戦への思いを胸に、生産性を高める 新たなモデルラインを構築

私は2017年からはじまった生産性倍増プロジェクトを推進するプロジェクトリーダーとして、さらなる生産性向上や省人化を実現する生産ラインの設計・構築に取り組んでいます。これは入社時から挑戦したかったことであり、私が大切にしている京セラフィロソフィの言葉「チャレンジ精神をもつ」という言葉にもつながる仕事。さまざまなトラブルに見舞われながらも仲間とともに解決し、在籍する鹿児島国分工場プロジェクト初となるモデルラインを構築することができ、大きな達成感を得られました。今後も現状に満足することなくチャレンジ精神を持ち続けて、京セラの仲間と心を高めながら、さらなる生産性の向上を追求していきたいと考えています。

京セラ株式会社
鹿児島国分工場 ファインセラミック事業本部

木元 剛志 Kimoto Koushi

チャレンジ精神をもつ



感謝の気持ちをもつ

京セラドキュメントソリューションズ株式会社
本社 技術本部

高上 愛 Takagami Ai

「感謝の気持ちをもつ」 その言葉を忘れずに、 世界一の長寿命※ドラムシステムを開発

京セラは「エコシスコンセプト」を掲げ、環境負荷を低減するプリンター・MFPの開発を続けています。私はその中で、長寿命のアモルファスシリコン感光体ドラムを軸としたドラムシステムの開発に携わり、仲間とともに世界一の長寿命化※を実現しました。その達成感は今でも印象深く残っています。現在はトナー開発の責任者を担当し、開発を一から学び直しながら業務に取り組んでいます。働くうえで大切にしているのは京セラフィロソフィにある「感謝の気持ちをもつ」こと。仲間が一生懸命に取り組んでくれることを当たり前と思わず、必ず感謝の気持ちを伝えるようにしています。今後もこの気持ちを忘れず、さらなる長寿命化を実現したドラムと高品質なトナーを組み合わせ、より優れた製品を社会に提供していきたいと考えています。

※2025年9月現在 京セラドキュメントソリューションズ株式会社調べ(対象:TASKalfa6052ciシリーズ)

すべてはチームのため

人の命を守る自動運転向けセンサの開発プロジェクト

私の京セラでのキャリアは半導体部品部門のセールスエンジニアからはじまり、22年経った現在、シニアセールスマネージャーを務めています。これまでを振り返って印象的だった仕事は、人命に関わる自動運転の安全性を向上させる、ASIC(特定用途向け集積回路)で複数の情報を統合管理するセンサの開発プロジェクトです。私は誰よりも「真面目に一生懸命仕事に打ち込む」という京セラフィロソフィの言葉を大切にし、それはチーム全体のためでもあると考えています。私が一生懸命に打ち込めば周りの人々も「よし、やってみよう」とやる気が高まる。自分のためだけでなく、チームとして働き、チームをひとつにまとめていく、それが私の仕事です。若い世代に仕事を任せられるよう、人材育成にも尽力していきたいと考えています。

KYOCERA Europe GmbH

フローリアン・ヴルスター Florian Wurster

真面目に一生懸命 仕事に打ち込む



素材から ソリューションまで。 社会課題解決に向けて 4つの重点市場へ。

創業者稲盛和夫が開発したファインセラミックスの技術からはじまり、京セラフィロソフィをベースに新たな価値を創造してきた京セラは、今では各産業や日常生活を支える事業を多岐にわたって展開しています。そしてこれからも社会課題に向き合いながら、人類、社会の進歩発展のために挑戦を続けていきます。



創業当時の写真



情報通信

ネットワークであらゆるものをつなぎ、情報通信の未来を創造する

グローバル社会の構造変化に合わせ、より便利で快適な通信環境の実現が求められています。京セラは長年培ってきた通信技術を基盤に、用途や目的に合わせたスマートフォンなどの通信端末、普及拡大が進むAIやDX分野の発展を支える部品やソリューションなど、最適な通信環境を提供することで、未来の情報通信社会の発展に貢献しています。



自動車関連

デバイスからインフラまで安全で安心な移動を切り拓く

来たるべき自動運転社会に向けて、カメラやディスプレイなど車載用デバイスの開発だけでなく、通信技術を活かしたインフラ関連の開発で貢献。さらに、パーソナルモビリティ、ドローンなど、3次元の空間移動にも活用可能な安全・安心を提供するさまざまな技術で、モビリティ社会の進化を支えます。



環境・エネルギー

地球に優しいエネルギーを活用し、持続可能な社会の実現に取り組む

脱炭素社会の実現や温暖化社会の解決に向け、再生可能エネルギーのさらなる活用が求められている今、京セラは持続可能な社会の実現に貢献。高品質で長期信頼性が特長の太陽電池、蓄電池、燃料電池を供給する他、再生可能エネルギーを最適にコントロールする新たな仕組みづくりを進めます。



医療・ヘルスケア

先進技術の研究開発を推進し、医療のさらなる発展とQOL (Quality of Life) の向上を目指す

人工関節やデンタルインプラントなど、失った機能を回復する医療用製品の展開に加え、日々の健康管理をより便利にする独自デバイスや新たな製品の研究開発を推進。さらに、予防医療によって、健康寿命を延ばす医療のトータルソリューションを提供し、人々のQOL向上に貢献します。